



Stock（株式）の語源は？ | 金融・経済の英単語



Stock

stock

はイギリス英語では「国債」、米語では「株式」を意味する言葉ですが、古い英語に起源をもち、さらに古く印欧語にその起源をさかのぼる、とても古い語のようです。そのルーツは何でしょう。

stock

は昔、木の「茎」や「株」などの意味があったようで、それが「押す」「打つ」といった意味に派生させました。ですから「株」は本来の意味を受け継いでいると言えます。

ドイツ語の stock

は「杖（つえ）」の意味で、スキーの「ストック」はここから来たものかもしれません（もっとも

stock

という英語は当時の辞書に載っていますので、英語が起源かもしれません）。これらに関連した類似の語彙としては、stub（切り株）、stucco（スタッコ、化粧漆喰）、stump（もと切り株）なども

stock

に関連があるようです。stick（スティック、棒、杖）は、ゲルマン語特有の「母音交替」による類義語です。

さて、同じ stick

という単語なのに、ご老人が使う杖は、どうして「スティック」と言わず「ステッキ」と言うのでしょうか？

これとよく似た現象があります。例えば strike ですが、労働組合では「ストライキ」、野球では「ストライク」といいます。また、ink

は「インク」と言う方が多いと思いますが、昔は「インキ」と言ったりしました。

種明かしをすると、昔入ってきた「外来語」の方が、実際の発音に近いからなのです。それに対して、戦後使われるようになった単語は、英語の綴りに引っ張られて、カタカナ表記をしたのだと考えられます。

さて、stock

には「家畜」という意味もありますが、これは「木の枝などで作った柵」のイメージから出たのでしょうか。他にも「在庫」の意味や、料理では「ブイヨン」の意味でも用いられます。

stock とともに「株」という意味する share

（割り前、切る、刈る）も、古い英語に起源をもつ関連語です。

さて、stock にあたる古いフランス語は、stache

といい「杭（くい）」を意味しました。これに接頭辞の ad- がついてできたのが attach

(くっつける)で、その語幹の部分は古いケルト語 tag (木くぎ) から来ているようです。

イタリア語の *attaccare* から派生した語は *attack* です。従って *attach* と *attack* はしばらく離れ離れになっていた兄弟のような語なのです。ad- と反意の接頭辞 de- がついでできた単語が *detach* (分離する、取り外す)で、この単語の祖先となるフランス語の動詞の過去分詞 *détachée* はバイオリン奏法で「デタッシェ」と呼びます。イタリア語に直すと、「*staccato* (スタッカート)」です。外来語にもなっている *attaché case* (アタッシュ・ケース) の *attaché* は「随行員」の意味です。

文：猪浦道夫・天宮徹也（共同執筆）／編集：M&A online編集部